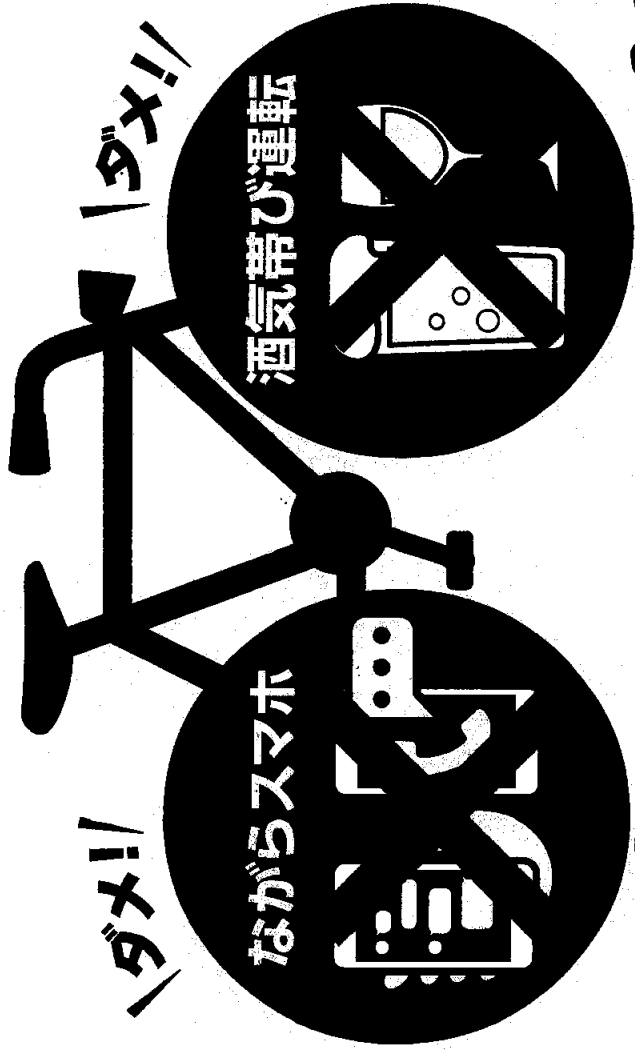


# 自転車のスマホ・酒気帯び 罰則強化



## 令和6年11月1日 道路交通法改正

### 自転車運転中の新たな罰則

- 携帯電話使用等 ▶ 最大1年以下の懲役又は30万円以下の罰金
- 酒気帯び運転 ▶ 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金



警察庁・都道府県警察

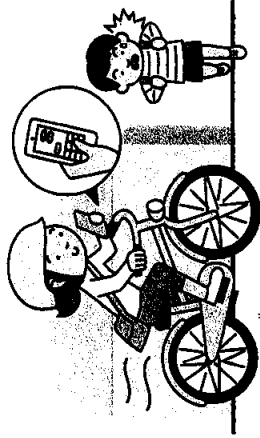
交通安全を  
つなぐ

## 令和6年11月1日道路交通法の改正

### 自転車の危険な運転に 新しく罰則が整備されました



運転中のながらスマホ



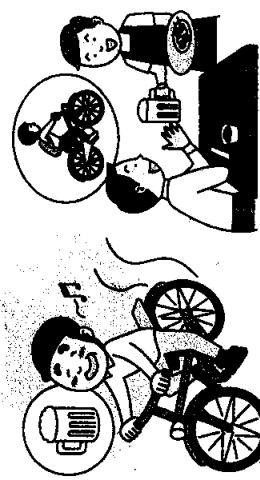
スマートフォンなどを手で保持して、自転車に乗りながら通話する行為、画面を注視する行為が新たに禁止され、罰則の対象となりました。

※停止中の操作は対象外

- 違反者は、  
6月以下の懲役又は10万円以下の罰金
- 交通の危険を生じさせた場合、  
1年以下の懲役又は30万円以下の罰金



酒気帯び運転および幫助



自転車の酒気帯び運転のほか、酒類の提供や同乗・自転車の提供に対して新たに罰則が整備されました。

- 違反者は、  
3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
- 自転車の提供者は、  
3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
- 酒類の提供者・同乗者は、  
2年以下の懲役又は30万円以下の罰金



「運転中のながらスマホ」、「酒気帯び運転」は  
自転車運転者講習制度の対象になります。

### 自転車運転者講習制度

自転車の運転に関し、交通の危険を生じさせるおそれのある一定の違反(危険行為)を反復して行った者は講習制度の対象となります。\*要請命令違反 5万円以下の罰金

危険行為 ▶ 信号無視、指定場所一時不停止、濫断踏切立入り、安全運転義務違反、通行区分違反 など

重大事故を防ぐため、交通ルールを遵守しましょう。